

2017年4月17日

<報道関係各位>

GINZA SIX リテールマネジメント株式会社

銀座最大の規模で4月20日に開業する商業施設「GINZA SIX」

椎名林檎さんとトータス松本さんが初共演！

GINZA SIXスペシャルムービー「メインストリート」篇が完成

**音楽家・椎名林檎さんが今回のために書き下ろした新曲『目抜き通り』が
さらに進化する銀座のテーマソングに。**

15秒バージョン、90秒バージョンを4月17日（月）から順次O.A/GINZA SIX公式WEBサイトで公開

GINZA SIX リテールマネジメント株式会社（J.フロント リテイリング株式会社、森ビル株式会社、L キャタルトンリアルエステート、住友商事株式会社の共同出資会社）は、2017年4月20日（木）に世界に新しいラグジュアリーを発信する拠点として開業する銀座最大の商業施設「GINZA SIX（ギンザ シックス）」のスペシャルムービー「メインストリート」篇（15秒・90秒）を、4月17日（月）から順次公開いたします。

音楽家の椎名林檎さんが、満を持して、ロックバンド「ウルフルズ」のボーカル、トータス松本さんへデュエットをオファー。トータス松本さんの快諾を受けるや否や、椎名さんは、銀座と、二人の声をモチーフに、新曲『目抜き通り』を書き下ろしました。GINZA SIX × 椎名林檎 × トータス松本という夢のコラボレーションが実現。引っ込み思案で照れ屋な二人がハーモニーを奏でる『目抜き通り』を背景に、幻想的かつラグジュアリーなスペシャルムービーが完成しました。



GINZA SIX スペシャルムービー「メインストリート」篇より

■ スペシャルムービーに込めた想い

【銀座を「世界の GINZA」へ】

日本を代表する街・銀座は、伝統や文化が集積・凝縮された場所であると同時に、世界の最先端を受け入れながら進化してきた特別な場所として、多くの人々を惹き付けてきました。その銀座に、銀座最大の商業施設として開業する「GINZA SIX」は、成熟都市・東京のアイコンとしてワールドクラスクオリティと文化性を持ち、銀座の誇りと歴史性、革新性を受け継いでいます。新しい時代に向けて生まれ変わる銀座の街が一体となって、これからの世界が求める新たな価値「NEW LUXURY（ニューラグジュアリー）」を発信していきたい——今回のスペシャルムービーには、そんな思いが込められています。

■ 楽曲について

【銀座が生まれ変わる、その象徴となる歌を作る】

“銀座のテーマソング”としてスペシャルムービーに使われている『目抜き通り』は、『歌舞伎町の女王』や『丸の内サディスティック』など、東京の街を舞台にした楽曲を送り出してきた椎名林檎さんが、このムービーのために新しく制作しました。お互いに何者なのかわからない人々が日本中から集う場所でありながら、誰もがワクワクして、気分が高揚する粋な街・銀座の魅力を歌うにあたり、椎名林檎さんから、トータス松本さんにデュエットをオファーしたところ、トータス松本さんはすぐに快諾。これにより、銀座が生まれ変わる、その象徴となる「銀座のテーマソング」が完成しました。

■ スペシャルムービーについて

【魔法にかかった銀座の街を、幻想的かつラグジュアリーな世界観で表現。新しく生まれ変わった銀座を椎名さんとトータス松本さんが華やかにアピール】

スペシャルムービーの舞台は、銀座の中央通り。「GINZA SIX」が誕生した瞬間、魔法にかかった銀座の街全体が祝福に満ちていく様子を、幻想的かつラグジュアリーなムードで描きました。椎名さんとトータス松本さんはそれぞれ、銀座の街を象徴したキャラクターとして登場。オーケストラ、ダンサーたちの演奏、ダンスが繰り広げられ、着飾った老若男女で賑わう路地や店舗を通り抜け、やがて二人は銀吹雪が舞う「GINZA SIX」の特設ステージで合流し、新しく生まれ変わった銀座を盛大にアピールします。誰もが知っている名所や老舗から、何気ない裏通りや街角まで、さまざまな角度から描いた銀座の新しい風景が、椎名さんとトータス松本さんのデュエットに乗せて描かれる、見どころ満載の作品にご注目ください。

【監督は数々のミュージックビデオや TVCM を制作してきた児玉裕一監督。サブキャストやスタッフも一流のアーティストが大集合】

スペシャルムービーの監督を務めたのは、世界三大広告賞でグランプリを受賞するなど数々の CM や椎名さんの PV 制作等、多くの映像作品を手掛けてきた児玉裕一監督。今回も細部まで妥協しない作品が出来上がりました。サブキャストも豪華です。銀座の目抜き通りで演奏するオーケストラの指揮者は、今回の楽曲制作においても同役を務められた作編曲家の斎藤ネコさん。これまでも椎名さんの様々な作品制作に参加しています。さらには、5人組ジャズバンド SOIL&"PIMP"SESSIONS ドラマーのみどりんさんや、トータス松本さんが路地で出会う楽器隊にも、実際のレコーディングで演奏しているトロンボーン奏者の村田陽一さん、トランペット奏者の西村浩二さん等が駆けつけました。またダンスシーンの振り付けは Perfume などの振付で世界を舞台に活躍する MIKIKO さんが担当しキレのある興趣を添えるなど、ワンカットワンカット贅沢にこだわって、銀座の街を華やかに演出しました。

■ 撮影エピソード

◇ 現場を魅了する圧巻の存在感と華やかでフェミニンなファッション

椎名さんは、肩ひもから胸元にかけてのフェザーがアクセントになっている、ピンクのキャミソールにフレアミニスカートで登場。銀座の街にふさわしい華やかで品のあるスタイルがよく似合っていて、周りの視線を釘付けにしていました。カメラ目線で中央通りを快活に歩くファーストカットでは、表情や仕草、歩くスピードなど、細部まで監督やカメラマンと相談。時には颯爽と、時には物憂げなムードで、ベストショットを追求しました。

◇ ミュージカルスターになった気分で銀座の街を闊歩

撮影前、デモ映像を視聴したトータス松本さんは「映画を撮っているみたい」「これを見たら、絶対出かけたくなるよね」とコメント。「よーし、行くぞー！」と意気込みたっぷりに臨んだ本番では、「肩で風を切って歩く感じ」という監督の指示を受けて、「ミュージカルに出ているような気分でやればいいかもしれない」などと、自分なりの解釈を交えながら、持ち前のエネルギッシュなキャラクターを存分に発揮。周りのスタッフとも気さくにコミュニケーションを交わし、現場を大いに盛り上げていました。

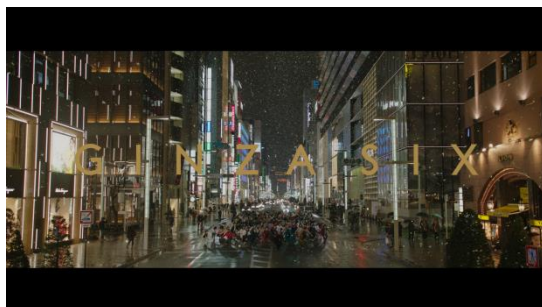
◇ デュエット同様、息がぴったり合った共演シーン

GINZA SIX のエントランス特設ステージで、椎名さんとトータス松本さんが合流するシーン。二人は振り返るタイミングやアクションを念入りに確認し合いながら、スペシャルムービーの締めくくりを飾る大事な場面に臨みました。待ちに待ったツーショットは、晴れやかな表情に溢れていて、アップのカットでは見事一発 OK を獲得。「今めっちゃ見つめ合いましたよね」「でしたね」と照れ笑いを浮かべた椎名さんとトータス松本さんは、周りのスタッフの歓声と拍手に、満面の笑顔で応えていました。

◇ わずかな時間も惜しんで練習した最高のパフォーマンス

階段を降りるトータス松本さんの背後から、シルバーの風船がどんどん溢れ出てくるシーン。風船の動き任せの要素が多分にあるため、プレイバックを確認しながら、「こればかりはどうにもならん」と苦笑いしつつも、とにかく自分に出来ることを最大限発揮するべく、セットの傍らで一人、タイミングや動きを熱心に練習していたトータス松本さん。そのプロ意識の高さにはスタッフ一同、頭が下がる様でした。

■ GINZA SIX スペシャルムービー「メインストリート」篇イメージカット



■プロフィール

◇椎名林檎

音楽家 演出家（作詞作編曲及び実演）

1998年デビュー。

1stアルバム『無罪モラトリアム』、2ndアルバム『勝訴ストリップ』が共にミリオンセラーを記録。2004～2012年は東京事変の活動も並行。映画や舞台の音楽制作、NHK「カーネーション」他TVドラマの主題歌を手掛けるなど多角的に活躍。SMAP、TOKIO、石川さゆり、林原めぐみ、柴咲コウを始めアーティストへの楽曲提供/プロデュースも精力的に行っている。2014年NHKサッカーテーマソング「NIPPON」を手がけ、オリジナルアルバム『日出処』を発表。2016年、NHK 総合テレビ『ガッテン』テーマ曲「ジューダム」とSARAVAHレーベル創設50周年記念アルバムへ収録される「13 jours au Japon ～2020日本の夏～」を配信リリース。2017年、TBS系火曜ドラマ「カルテット」の主題歌「おとなの掟」を作詞作曲プロデュース。第31回日本アカデミー賞 優秀音楽賞、平成二十年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

◇トータス松本

ウルフルズのボーカルとして、1992年シングル「やぶれかぶれ」でデビュー。

3年後「ガッツだぜ!!」でブレイクし、その後のアルバム「バンザイ」はミリオンヒットとなり、紅白歌合戦出場。

2001年に「明日があるさ」で二度目の紅白歌合戦出場を果たす。

2003年、初のソロカバーアルバム「TRAVELLER」を発表し、自身のルーツであるサム・クック、マーヴィン・ゲイなどソウル、R&Bの名曲をカバー。

2009年8月30日をもって、ウルフルズは無期限活動休止となる。

ウルフルズ活動休止後は、ソロ・アーティストとして3枚のオリジナルアルバム『FIRST』、『マイウェイ ハイウェイ』、『NEW FACE』、2枚目となるカバーアルバム『TWISTIN' THE NIGHT AWAY』を発表。

アルバムリリースツアーをはじめ、全編「声」だけで歌を届けるアカペラツアーや、自身初となる弾き語りツアーなど、勢力的にライブ活動を行う。

2014年2月、4年半の活動休止を経て、ウルフルズ活動再開を発表。

以降もライブを中心にソロ活動も継続。

音楽活動と並行し、CM、ドラマ、映画、執筆活動等、多方面でも活躍している。

2017年5月24日には、ウルフルズの25周年を記念した14枚目のオリジナルアルバム『人生』をリリース予定。

■楽曲情報

タイトル：目抜き通り

歌：椎名林檎とトータス松本

作詞・作曲：椎名林檎

編曲：斎藤ネコ

配信日：2017年4月20日（木）

発売：EMI Records/UNIVERSAL MUSIC

■スペシャルムービー概要

<TV>

タイトル : GINZA SIX スペシャルムービー「メインストリート」篇 15秒/90秒
 出演 : 椎名林檎、トータス松本
 放映期間 : 15秒=2017年4月17日(月)~19日(水)
 90秒=2017年4月20日(木)
 放映地域 : 15秒=関東ローカル、90秒=全国

<WEB>

公開日 : 2017年4月17日(月) 午前0時
 公開先 : <https://ginza6.tokyo/> (<https://www.youtube.com/GINZASIX>)

■制作スタッフ

広告会社	電通
制作会社	電通クリエイティブX
ECD	古川裕也
CD	塚田由佳
CD+PL	東畑幸多
PL	菅野薫
CW	太田恵美、スコット・レーマン
コミュニケーションデザイナー	仁藤安久
AP	柳下祐介
プロデューサー	春田寛子
プロダクションマネージャー	藤井昭嘉、佐藤裕一
演出	児玉裕一
撮影	越後祐太
照明	尾池将成
美術	杉本亮
振付	MIKIKO
スタイリスト	青木千加子(椎名林檎)、堀井香苗(トータス松本) 杉山まゆみ、増田実茄
ヘアメイク	小西神士(椎名林檎)、田中大作(トータス松本)、主代美樹
アーティストマネジメント	佐藤俊行(椎名林檎)、勝田淳巳(トータス松本)

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

GINZA SIX PR 事務局 (株式会社サニーサイドアップ内) 担当: 鈴木隆仁、岩崎彩加、澤井亨
 TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-MAIL: ginzasix_pr@ssu.co.jp GINZA SIX HP: <http://ginza6.tokyo/>